

部活動

運動部

陸上競技
バスケットボール(男女)
テニス(男女)
バドミントン(女)
ソフトボール(女)
サッカー
硬式野球
卓球
剣道
弓道
水泳



文化部

吹奏楽
写真
美術
書道
演劇
茶道
理科研究
英会話
軽音楽同好会



栄光の軌跡

平成29年度 (平成29年7月以降)		
●全国高等学校総合体育大会 弓道	男子個人 第7位 太田 弘人 女子団体 第4位	
●東北高等学校弓道選抜大会	男子個人 第4位 畠山 祐輝	
●全国高等学校弓道選抜大会	女子団体 第3位	
●全県新人	テニス 女子団体 第2位 バドミントン 女子学校対抗 第2位 女子ダブルス 第1位	東北新人大会出場 伊藤 日和・扇川 京香 東北新人大会出場
サッカー	女子50m自由形 第2位	東北新人大会出場
水泳	女子100mバタフライ 第4位	東北新人大会出場
弓道	男子団体 第1位 女子団体 第1位 男子個人 第2位 女子個人 第1位	全国選抜出場 全国選抜出場 畠山 祐輝 全国選抜出場 佐藤麻衣子 全国選抜出場 佐藤菜々子 全国選抜出場
●秋田県高校文化祭総合美術展	写真部門 推奨 天野エレナ 推奨 関本 優奈	
●その他の活動	第25回秋田県高等学校総合文化祭 ポスター部門 最優秀賞 佐々木瑠菜 第22回秋田県高等学校新聞コンクール 最優秀賞 平成30年度全国高等学校総合文化祭長野大会参加決定 高校生おいしく減塩・野菜もとれるレシピコンクール 特別賞 堀 馨	
平成30年度 (平成30年6月現在)		
●秋田県高等学校総合体育大会	テニス 女子団体 第2位 バドミントン 女子学校対抗 第2位 女子ダブルス 第2位	東北大会出場 東北大会出場 伊藤 日和・扇川 京香 インターハイ・東北大会出場
サッカー	女子50m自由形 第2位	東北大会出場
水泳	女子100mバタフライ 第2位	東北大会出場
弓道	女子団体 第2位	東北大会出場
●東北高等学校選手権大会	弓道 女子団体 第1位 (射道優秀賞)	



在校生の声

理系コースの授業は、難解なイメージがありますが、受験の幅が広がることや、ほとんどの生徒が進学希望なので、皆で目標を共有しながら学習に励んでいます。特に定期考査前の集中力はどのクラスよりも高いです。(3年女子)

新屋高校には、様々な進路希望の人がいますが、個人個人にあった進路指導があります。私は公務員試験合格に向け、休休みの補習に参加しており、自分の力になっていると感じています。(3年女子)

新屋高校には、全国大会で勝利することを目指して全力で励む部活動が多くあります。他の部の活躍を励みにしながら、学習と部活動の両立に努めています。(2年男子)

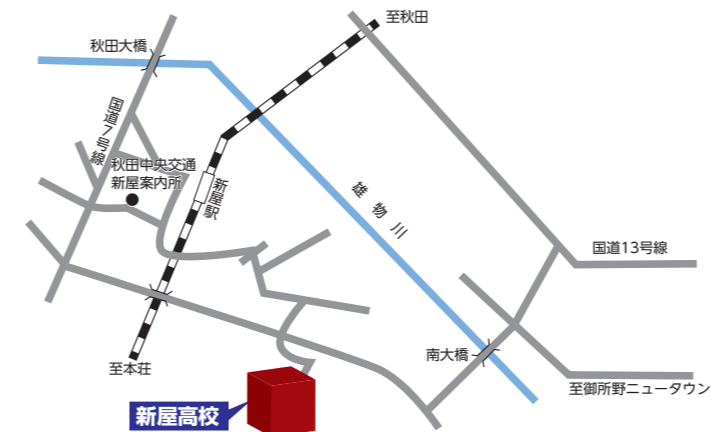
普段の授業では、ペア活動やグループ活動が多く取り入れられ、生徒同士が協力して楽しみながら学んでいます。部活動でも部員同士が同じ目標に向けて活動しています。学習も部活動も仲間と共に励むことができ、充実しています。(2年女子)

新屋高校は、勉強も学校行事も全部本気で取り組める学校です。文系コースでは受験を想定した科目選択ができ、同じ目標を持つ友達と協力したり高め合ったりすることができ、一体感があります。(3年男子)

将来、保育士を目指す私は、教養コースでの学習が確実に自分の力になっていると感じています。地域を知ることや食の大切さなどを実習を通じて体得できました。(3年女子)

新屋高校までのアクセス

羽越線新屋駅より徒歩24分(1.9km)
バス路線は、秋田駅発新屋線・新屋西線・飯島北発新港線



〒010-1651 秋田市豊岩石田坂字鎌塚77-3
TEL (018) 828-5859 FAX (018) 828-1962
<http://www.araya-h.akita-pref.ed.jp/>



学校より太平山系をのぞむ



平成30年度 学校案内



新屋高校で「自分探し」に挑戦しよう!

雄物川左岸に位置する新屋高校は、太平山を望む豊かな自然環境の中で34年の歴史を刻む普通高校です。地域活動を通して豊かな感性と適性を高める学習指導・進路指導を実践しています。

秋田県立新屋高等学校
AKita Prefectural Araya High School

教育方針

- I 基本的な生活習慣の確立
豊かな感性を培い、品性を重んじ、自律的に行動する人間の育成
- II 学力の向上
強い目的意識と高い学習意欲をもち、不断の向上を目指す人間の育成
- III 特別活動の充実
健康な心身を養い、社会的連帯性と創造性をもち、社会の変化に主体的に対応できる人間の育成
- IV 地域への貢献
地域とともに育ち、地域の発展に資する人間の育成

プロフィール

昭和59年(1984年)4月10日 第1回入学式
7月4日 開校式
平成6年7月 創立10周年式典
平成16年10月 創立20周年式典
平成21年7月 校訓制定
平成26年9月 創立30周年式典
平成30年3月 第32期生 174名卒業
卒業生総数 8,731名
生徒数(平成30年6月20日現在)
520名(男子240名、女子280名)
出身中学校数 36校
職員数 50名



「自尊 自知 自制」
—自分を大切に、自分をわきまへ、自分の欲望をおさえる—
校訓(平成21年7月4日制定)

教育課程

コース制 学力の定着=進路達成のために

1年 2・3年

共通履修

文系
国公立大学・私立大学・短大進学

理系
国公立大学・私立大学進学

学校設定科目
「地域コミュニケーション」(2年)
「キャリアプランニング」(3年)
地域体験型の授業を実施

二学期制 授業時間の充実で学力を強化

前期 4月~9月 } 1週間に6時間授業の日が2日

後期 10月~3月 } 7時間授業の日が3日

平成30年度教育課程表

1年	国語総合(現代文)	国語総合(古典)	現代社会	数学I	数学II	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術I	コミュニケーション英語I	英語表現I	家庭基礎	社会と情報	HR	総学
2年 教養コース	現代文B	古典B	日本史B	数学II	地学基礎	体育	保健	スポーツII、芸術IIより1科目選択	コミュニケーション英語II	英語表現II、情報の表現と管理	地域コミュニケーション	HR	総学				
2年 文系コース	現代文B	古典B	世界史B・日本史B・地理Bより1科目選択	数学II	数学B	地学基礎(前期)	化学基礎	物理・生物・地学より1科目選択(後期)	体育	保健	コミュニケーション英語II	英語表現II	HR	総学			
2年 理系コース	現代文B	古典B	地理B	数学II	数学B	物理基礎・物理・生物・地学より1科目選択(前期)	化学	体育	保健	コミュニケーション英語II	英語表現II	HR	総学				
3年 教養コース	現代文B	古典B	世界史A	数学III	科学と人間生活	体育	保健	コミュニケーション英語III	英語表現III	HR	総学						
3年 文系コース	現代文B	古典B	世界史B・日本史B・地理Bより1科目選択	数学III	数学B	物理・生物・地学より1科目選択(2年後期から継続)	化学	体育	コミュニケーション英語III	英語表現III	HR	総学					
3年 理系コース	現代文B	古典B	地理B	世界史A	数学III	数学B	物理・生物より1科目選択(2年後期から継続)	化学	体育	コミュニケーション英語III	英語表現III	HR	総学				

*1メモリは週1時間の授業を指しています。

学校行事



入学式



生徒総会



避難訓練



新高祭



校内体育大会

- 4 前期始業式
入学式
スクールマナー集会
生徒総会
PTA 総会/学年 PTA
- 5 中央支部総体
- 6 全県総体
第1回定期考査
第1回避難訓練
新高祭
- 7 創立記念日
インターハイ・野球甲子園予選壮行会
学習強化期間
オープンスクール
- 8 課題テスト
校内体育大会
- 9 生徒会役員選挙
第2回定期考査
前期終業式
- 10 後期始業式
芸術教室
第2回避難訓練
- 11 修学旅行(2年)
- 12 第3回定期考査
学習強化期間
- 1 第4回定期考査(3年)
- 2 第4回定期考査(1、2年)
同窓会入会式(3年)
- 3 卒業式
修了式
新入生オリエンテーション

「地域とともに生きる新高生」を育てる進路指導のストーリー

1年 『自知』	2年 『自尊』	3年 『自制』
自らの適性を知り、自らに適した進路を知る	様々な体験から自らを高めたいものとする	自らの欲望を制し、進路を制す
学習サイクルの構築 ・新生活への適応 ・学習観と学習スキルの転換 ・国数英を中心に家庭学習の習慣化	志望校を意識し始める ・学習、生活スタイルを再度見直す ・思考力を問う問題に挑戦する ・予習・授業→復習サイクルの中で新しい疑問を持つようにする ・豊休み中オープンキャンパスに参加する	受験基礎力の完成 ・本格的な受験勉強の開始 ・英語4技能外部検定への対応 ・理社の既習範囲の定着 ・補習を利用し、特に理社の力を磨く ・過去問題の確認と出題傾向の把握
得意科目の伸長 ・学習計画の見直し ・国数英を中心とした得意/苦手の特定 ・まずは得意科目での学習サイクルの確立	受験生になる・志望理由の明確化 ・第一志望を決定し、志望理由を明確にする ・同一志望の仲間と刺激しあい、切磋琢磨する	受験対策 ・理社数を中心とした演習 ・共通テスト対策の完了 ・過去問題演習
1年間の振り返りと2年生へ向けた気持ちの引き締め ・2年生ゼロ学期として学習に取り組む ・学習計画にそった生活時間をつくる	国数英の3教科学力の完成 ・マーク模試結果を利用し、各自の成績具体目標を掲げる →3年生としての学習計画を立てる ・春休みの時間を活用して、国数英のなかの苦手克服に努める	論述・二次対策 ・二次試験対策補習 後期試験にも粘り強くチャレンジする

地域との交流・ボランティア活動

新屋高校では生徒の自主活動が活発で、日吉神社の祭典への参加、特別支援学校や幼稚園等の訪問をはじめ、ボランティア活動や交流活動、地域教材の研究活動などが積極的に実行し、地域との交流を図っています。

栗田支援学校運動会
栗田支援学校とは年に数回のボランティア交流を行い、親睦を深めています。

日吉山王例大祭
日吉山王例大祭では地域のみなさんと一緒に御輿を担ぎ、祭りを盛り上げました。

ヤマハガ
「きゃで」をまとい、「ヤマハガ」に扮装し、地域の伝統行事の継承に一翼を担いました。

生徒会長からのメッセージ



田中 美優 (御野場中出身)

私たちは、地元新屋に根差した高校として地域との交流を大切にしています。日吉山王例大祭での神輿担ぎや、ヤマハガ、栗田支援学校でのボランティア、海岸漂着物調査ボランティアの他、吹奏楽部による幼稚園への訪問演奏、生徒有志による学校近隣の清掃活動などが盛んです。校内では経験できない活動を通じて、新高生は地域の皆さんに支えられていることや自分自身がどのように社会と関わり、貢献できるのかについて深く考えるようになりました。地域の方々との交流は、仲間と創意工夫しながら自分自身を見つめる貴重な時間です。また、大学訪問や県内企業等の見学などの様々な進路行事が用意されており、「なりた自分」を思い描きながら、毎日の学習に励んでいます。今後、新屋高校を目指す中学生の皆さんも、是非私たちと新屋高校で自分磨きをしてみませんか。全校生徒一同、皆様のご入学をお待ちしています。



貴志 洸斗 (豊岩中出身)

私は高校2年生の頃から秋田大学進学を目指していました。私は、水泳部と生徒会執行部の2つの部活動を掛け持ちして忙しい時もありました。しかし、日々の小テストや定期考査に手を抜かず、全力で取り組んできました。毎日の学習を大切にすることは、受験勉強においても重要なポイントだと感じました。新屋高校では1年生の頃からそれぞれの進路に向けた対策があり、3年生の部活動引退後からは充実した内容の毎日の補習や夏期冬期補習で大学進学に向けた学習ができます。また、受験勉強においては共に競い合う友達も大切に感じました。進路相談や面接練習、補習では先生方が親身に分かりやすく指導してくれました。皆さんも新屋高校で大切な友や先生に出会い、自分の進路を達成できるように頑張ってください。

平成29年度進路実績

進学および就職者数

進学	大学	短大	専修学校等	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
				国公立	23	16	19	16
			私立	55	61	61	56	58
			国公立	1	8	4	3	3
			私立	18	19	26	25	29
			県内	48	51	48	58	51
			県外	13	22	27	26	24
			その他(未定者等)	4	10	5	4	7
			合計	12	8	8	10	7
				174	195	198	198	196

進学先

国公立大学(23名) 秋田大(7)、北海道教育大函館校、室蘭工大、宮城教育大、弘前大、山形大、福島大、新潟大、秋田県立大(4)、宮城大、青森公立大、釧路公立大、都留文科大、諏訪東京理科大

私立大学(のべ72名) ノースアジア大(15)、日本赤十字秋田看護大(2)、北翔大、千歳科学技術大、八戸工業大(2)、盛岡大、東北公益文科大、東北学院大(8)、東北福祉大(11)、仙台白百合女子大、宮城学院女子大、東北芸術工科大(2)、明海大(2)、千葉工業大(2)、淑徳大、流通経済大、東京国際大、関東学院大、東洋大、杉野服飾大、明治大、日本大、桜美林大、日本体育大、専修大、城西大(3)、拓殖大、昭和音楽大、神奈川大、新潟医療福祉大、関西学院大(2)、福岡工業大ほか

短期大学(19名) 国立清水海上技術短期大校、聖園学園短大(7)、聖霊女子短大(5)、秋田栄養短大、日本赤十字秋田短大、仙台青葉学院短大、修短短期大、昭和音大短期大学部、大妻女子大短期大学部

専修学校等(のべ52名) 秋田県立衛生看護学院、秋田県立秋田技術専門学校(3)、秋田リハビリテーション学院、秋田市医師会立看護学校(2)、中道高等看護学院、しらかみ看護学院(2)、秋田情報ビジネス専門学校(2)、秋田県調理師専門学校、秋田県理容美容専門学校、秋田ヘアビューティーカレッジ、秋田建築デザイン専門学校、東日本医療専門学校、盛岡ヘアメイク専門学校、盛岡医療福祉専門学校、北日本ヘアスタイリストカレッジ、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ、酒田市立酒田看護学校、仙台医療福祉専門学校、仙台スイーツ&カフェ専門学校(2)、東北栄養専門学校、仙台子ども専門学校(2)、仙台スポーツ&リゾート専門学校(2)、仙台ビューティーアート専門学校、宮城調理製菓専門学校、仙台コミュニケーションアート専門学校(2)、仙台ウェディング&ブライダル専門学校、東北動物看護学校、埼玉県立高等看護学院、昭和医科大学付属看護専門学校、板橋中央看護専門学校、昭和医療技術専門学校、東武医学技術専門学校、東京電子専門学校、日本工学院(2)、ベルエポック美容専門学校、東京ベルエポック美容専門学校、東京ビューティー&ブライダル専門学校、東京電子専門学校、パンタンデザイン研究所、Japanサッカーカレッジ、劇団青年座研修生、新潟工科大学専門学校

就職先

企業(11名) オールホンダ、秋田製錬(2)、東日京三電線、秋田信用金庫、東北フジクラ、SUMCO JSQ事業部、パティスリードゥフィーユ、秋田スズキ、三菱マテリアル電子化成、ファイナズ東京

公務員(6名) 海上保安学校、自衛官候補生、自衛官候補生、秋田県警察(2)、秋田市(行政)

卒業生からのメッセージ



小林 来夢 (山中出身)

私が新屋高校を目指した理由は、幅広い進路選択を考慮することができるからです。宮城大学を目指したのは、高校3年生の春でしたが、その頃の私の学力では合格は不可能でした。そのため、放課後や夏休みの補習には必ず参加し、授業で分からなかった問題は先生方に質問し、先生方から丁寧に教えてもらいました。また、苦手分野の問題を参考書で何回も繰り返しやりこみました。このように新屋高校では、熱心な先生や恵まれた環境の中で進路実現を可能にすることができます。中学生の皆さんは、これから過酷な受験勉強に向かうと思います。高校生が大学受験に臨むときも同じことが言えますが、3年間分の復習を直前に行くことはできません。1時間1時間の授業を大切にしてください。スマートフォンや遊びの誘惑に負けず、将来の充実した時間のために、今ある時間を大切にしてください。